

# 生産管理カウンタ設置前の注意事項

本装置を生産ラインに設置する前に本装置とRS485変換器・制御PCとを仮接続し、正常に動作することを確認して下さい。

動作確認せずに設置すると、万が一正常に動作しなかった場合の原因(カウンタの設定誤り・カウンタの初期不良・ケーブルの不良・制御PCの異常・制御ソフトの設定誤り・RS485変換器の不良・配線工事の不良等)調査が困難になる可能性があります。

## 生産管理カウンタ設置時の注意事項

本装置は外来ノイズに対する保護を行っておりますが、想定外の強力なノイズが印加された場合、誤表示・表示停止等が発生する可能性があります。

よって、以下の項目に留意して設置・布線されるようお願いいたします。

1. カウンタ本体は強力なノイズを発生する装置(溶接機等)から離して設置して下さい。
2. 電圧が急激に変動するコンセントに接続したり、強力なノイズを発生する装置と電源コンセントを共用しないで下さい。
3. 動力線からは強力なノイズが発生せられるため、通信ケーブル・電源ケーブル・カウンタケーブル、及び、汎用I/Oケーブル(手動機種切替、機械故障信号入力 etc.)は動力線から離して敷設して下さい。(理想的には別配管)
4. 通信ケーブル両端にはノイズ防止用フェライトコアが取付られていますが、コア両側のケーブルを接近させるとその部分でノイズが素通りし、ノイズ防止効果が低下してしまいますのでコア両側のケーブルは接近させないで下さい。
5. 通信ケーブルの余った部分は巻いたままとせず、ループ状の面積が小さくなるよう束ねて下さい。巻いたまま放置すると、アンテナ効果によりノイズを受信し易くなります。
6. カウンタ用ケーブル、手動切替用ケーブル、機械故障信号入力ケーブルは2芯シールド線を使用して下さい。一般の2芯ケーブルではノイズを拾い易くなります。  
また、ケーブル長が長い(数 m 以上)場合は、通信ケーブル同様にノイズ防止用フェライトコアを取付けて下さい。

## 生産管理カウンタ設置後の注意事項

ソフトウェアを起動する前に以下の項目を確認するようお願いいたします。

1. 同一系統の通信ケーブル末端に接続されるカウンタには終端抵抗を設定して下さい。設定方法についてはハードウェア説明書「5. 2 終端抵抗設定」を参照下さい。終端抵抗を設定しなくても正常に動作する場合がありますが、環境の変化により誤動作の原因となりますので必ず設定して下さい。  
但し、2台以上のカウンタに終端抵抗を設定すると、誤動作・故障の原因となりますので必ず1台だけ設定して下さい。
2. カウンタ ID 設定後は電源の切入動作が必要です。  
電源の切入によりカウンタ ID が正しく設定されたことを確認して下さい。